

《 事故発生時の確認事項 》

けが人の救護・二次事故の回避が最優先！その後、警察へ連絡します。

事故日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分頃

事故場所 _____

※分かれば住所(電柱参照)を記録。分からなければ「～付近」と控え、詳細は後で調べる。

届出警察 _____ 警察署 _____ 交番・派出所 担当署員名

※警察が到着するまでにできる限り、相手の情報を確認する。

※現場検証にて人身扱か物損扱かを警察に判断してもらう(後に変更になる場合もあります)。

※自損事故であっても、接触・衝突物の損傷等が大きな場合は届出を行います。

(未届けが原因で当て逃げ扱いとなる可能性があります)

事故状況

※道路状況や事故発生時の周囲の状況等できるだけ細かく確認、記録しておく(図面化 ※裏面)。

図面や会話内容等、
裏面に記載しておく

※発生直後の会話内容は必ず記録しておく(特に相手方の発言)。

※目撃者がいる場合は、可能な限りその方の連絡先を控えさせてもらうようにする。

※明らかに相手方の過失が大きいと思われる場合は、安易に謝らないようにする(気遣いは必要)。

※事故の過失割合を判断するのは警察ではなく保険会社であるため、現場での会話が重要となります。

(以下、相手方の情報詳細)

氏名 _____ 年齢 _____

※近くにコンビニ等があれば、免許証のコピーを取らせてもらう(特に当方が被害者の場合)。

自宅

住所 _____

固定電話 _____

携帯電話 _____

※必ず連絡が取れる先を控える。

勤務先

社名 _____

電話 _____

住所 _____

※名刺があればもらう。

車種・ナンバー

車種・色 _____

ナンバー(正確に記録) _____

※車の所有者を確認する。【 本人 家族 会社 知人 レンタカー 】

けがの有無

有 _____ 無 _____

※有の場合は病院名・電話番号を確認。その場でわからなければ追って確認する。

※事故直後に不調がなくても、その後不調を来たした場合は、必ず相手方(保険会社)に伝える。

(物損事故扱いのままだと、治療費が保障されないことがあります)

保険会社

会社名 _____

担当者 _____

TEL _____

※裏面あり